

新春号恒例！

スタッフ全員の“新年の抱負”
皆どんな思いで新年を迎えたのでしょうか？ご覧ください。

大竹店

- 竹内常務：今年も元旦に自宅近くの極楽寺に子供たちとご来光を拝みに上ったが、だんだん子供たちに付いて行けなくなってきた。来年還暦を迎えるので「次代への引継ぎ」を考えたい。
- 里：「健」と言う文字をキーワードに、心身ともに健やかでありたいです。
- 西村店長：本厄を過ぎ、業界での会の役をいただくようになった。迷惑を掛けないように、本業以外にも、効率よく進めたい
- 事務部門
- 向井：子供が今年高校生と中学生に上がるので、親としてしっかりと支えていきたい。
- 河野（育）：今いる孫たちもだんだん、パパ離れして行くし、次なる孫にそなえて、さらに太極拳に励み、体力を温存しておきたい！そして、“高齢化社会”を念頭において、楽しく、少しでも元気に年を重ねたいです。（今年は食べることも大事したいと思います。）
- 河野（清）：今年は学校の役員をやったり、新しい事に挑戦していきたいです。仕事も早く一人前になれるように頑張りたいです！

廿日市店

- 宮本店長：昨年とはとにかく忙しくてバタバタしてしまった。今年は、前広に計画を立ててしっかりと取り組みたい。
- 河野（大）：織田信長の「是非に及ばず」と言う言葉のように、四の五の考えずにとっとと取り組むようにしたい。
- 太田：今年には新入社員の中谷君が入社して来るので、早く仕事を覚えてもらって楽に仕事ができるようになりたい。
- 山中：今年には新しいことを初めてみようかな、と思っています。小さなことからコツコツと...。（ペン習字e.t.c.）

里さんと竹内常務は、年齢に応じたコメントですね。西村店長以下の若手は仕事の忙しさが伝わってきて、今の弊社の状況が見えますね。女性陣は子供の成長や子育て後の想いが現れてますね！皆、今年も仕事も家庭も、そして一人一人がより良い年になるよう、目線を上げて頑張らしましょう！

*** イベント情報 ***

春のリフォームフェア

日程:2月4日(土)・5日(日)

会場:廿日市商工保健会館

皆さんのお役に立つ企画で開催します！

皆様のお越しをお待ちしております。
詳しくは、同封のチラシをご覧ください。



宮本廿日市店店長

「住いの困った」は ゲイナンハウス 大竹店・廿日市店共に
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>
最後までお読みいただき有難うございました、次回は3月の予定です。（啓）
*尚、この「住みいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。

いつもお世話になっている皆様



GEINAN
HOUSE

住みいる通信

H29.1



阿蘇山上空ヘリコプターより
外輪山を望む

皆様、新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

年末まで、お天気が不順で外部の工事が進まず、結局年を越してしまった現場もあるなど、ホント年末の天候不順には振り回されてしまいましたが、30日からの休みに入ると天気は一気に好転、暖かくて気持ちの良いお正月を迎えることができました。皆様におかれましては、今年のお正月はいかがでしたか？

私のお正月は、大晦日に姉のお寺に除夜の鐘を突きに行き、そして元旦は朝の9時に家族全員で仏壇にお参りをし、お節料理でお屠蘇をと雑煮をいただき、一人一人今年の抱負を話しました。これは、私が子供の頃からの元旦の定番となっておりますが、この年ともなると、一年の始まりとなる元旦はこのようなセレモニーが良いものだなあと感ずるものなんですね。（勿論、子供の頃は面倒臭かったですが・・・）

昨年、お陰様で還暦を迎え60歳の大き台に乗りました。還暦とは生まれた干支に帰ると言う事ですので、平たく言えばリセットですかね？早いもので社長を引き継いで15年。有難いことに、お客様・社員に恵まれ何とかやって来ましたが、今度は「次代に繋ぐ」と言う事を念頭に置いて考えたいと思いますので、今年は心身共にチョイとリセットして頑張りたいと思います。

さて、上の写真は昨年12月行きました阿蘇山上空ヘリコプターから撮った外輪山の写真です。実は阿蘇山初めてでして、天気がとても良かったお蔭で、素晴らしい眺めに感動した次第です。詳細は、裏面に書かせていただきましたのでご覧ください。今年も社内旅行などで出掛けの際、感動したことなどお伝えさせていただきます。また、今年も、色んな企画を行いますので、ご参加の程よろしくお願い致します。（啓）



河野



阿蘇山で ” 絶景！ヘリコプター体験”

昨年12月に家内の身内の結婚式が熊本であり、私が阿蘇山に行ったことが無かったので、折角だからと家内の妹夫婦と阿蘇山に行って来ました。

昨年の地震の影響で、遠回りでの阿蘇山となりましたが、とても天気が良くロープウェイで登ってみようと頂上へ。残念ながらロープウェイは火山活動が活発なため運休。しかも乗り場にはヘルメットも準備されており、頂上の阿蘇山上神社は噴火で屋根が壊れたままとされており、ひょっとしたら噴火するかも？なんてチョッとばかり一緊張

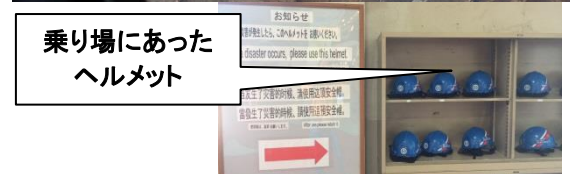
ですが、山頂付近の眺めは素晴らしく、ロープウェイに乗れなかったことを悔やみつつ走り始めると、「ヘリコプター遊覧」の看板が目に入り、こんないい天気に折角だからと三人で（妹の旦那は高所恐怖症のため辞退）乗ってみることに。

待つこと10分で可愛い4人乗りのヘリコプターが現れ、乗り込むや否や浮き上がり、わずか5分の飛行でしたが、空からの眺めは正に”絶景！”でした。遠くに外輪山を眺めると阿蘇山の全景を見ることができ、良い思い出ができました。

報告まで（啓）



ヘリから見た
噴火口



乗り場にあった
ヘルメット

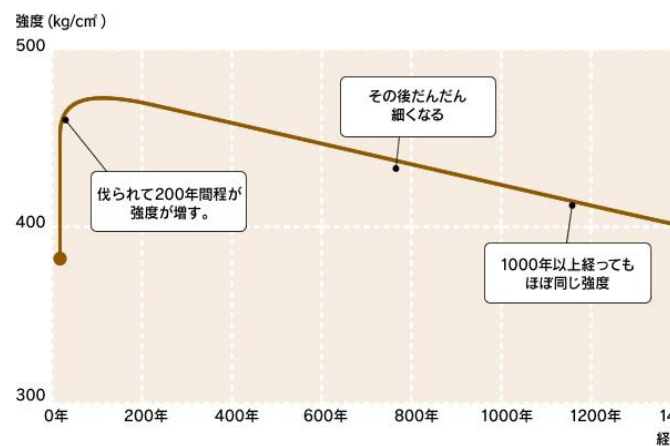


ヘリとの記念写真

木の家を科学する④

今回のテーマは
「木の強さと寿命」

ヒノキの強さの経年変化



「木」は人が住まうほど耐久性を増す不思議な建築素材です。左のグラフはヒノキの圧縮強度の経年変化を示したものです。伐られて200年間で約30%強度が増し、その後徐々に弱くなりますが、1000年経っても伐採時の強度と変わりません。これは圧縮力だけでなく、引っ張り・曲げにおいても同じように変化します。なるほど、奈良の法隆寺五重の塔が1300年経った現在でも現存していることが分かります。

また、木材は同じ重量で強さを比較すると、木は鉄の約4倍の引張強度を備え、コンクリートの9.5倍以上の圧縮強度を備えていますので、軽くて強い家を作ることができるという訳です。

”断熱改修”の現場から 高性能断熱材と床暖房で快適LDKに！

今回の施工事例は、LDKを断熱改修した事例です。「リタイヤしたら親しい友人を呼んで食事を楽しみたい」とのご要望に、元々16帖のLDKの一部増築して18帖程度に広げ、ゆったりとした空間となるように天井を取り払い、ウッディなインテリアへと丸梁を露出させました。そこで断熱改修として、開口部は樹脂製の内窓を取り付けることで二重窓とし、壁には厚み105mm・天井には105mmの断熱材を二重に施工し、気密性確保に防湿シートを施工しています。高断熱な施工をしたことで床暖房がより効果的となり快適なLDKを実現しました。（啓）

建物概要

構造：木造軸組み工法

建築年：1987年

LDK床面積：31.8m² (9.6坪)

断熱改修：

開口部 既存単板サッシ
+樹脂窓（複層ガラス）

床 カネライト40mm

壁 高性能グラスウール105mm

天井 高性能グラスウール105mm×2

床暖房：電気式床暖房

1980年代に建築された住宅の仕様では、窓等は単板ガラスのサッシ、壁には50mm程度の断熱材（グラスウール）が入っているものの、床下や天井裏には断熱材が施工されていません。今回の住宅も同様に、床下・天井裏には全く断熱施工がされていませんでしたので、16帖のLDKはとても寒い状態でした。

上記に書きましたように広い空間を確保し、なおかつ上下の温度ムラの無い快適な空間を作るために、防湿シートで気密性を確保し、高い断熱性能を確保するために厚い高性能グラスウールを壁面と天井面に隙間なく施工しています。特に天井面は夏場の屋根からの熱を遮断するために二重に施工しました。

この断熱改修のポイントは改修する空間をぐるりと断熱材でくるんでしまうことです。隣室との間もキッチンと断熱施工することで高い断熱効果を得ることができます。このことから、床暖房でポカポカするような快適空間を実現することができました。

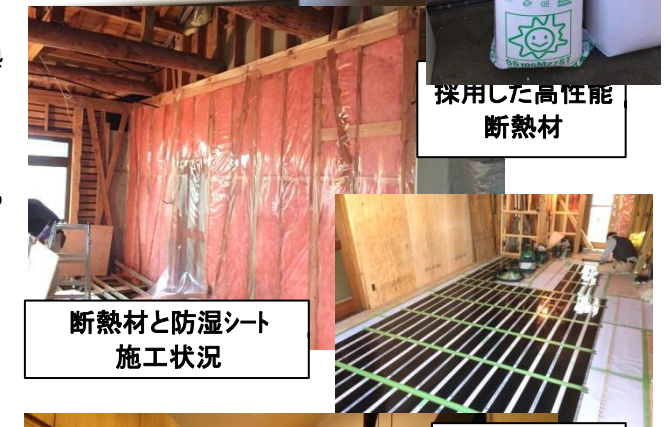
今回の断熱改修の仕様については、担当した宮本君と高性能な断熱改修を積極的に行っている群馬県の実業家に視察に行き勉強してきた仕様です。比較的温暖な広島県ではここまでの仕様は必要ないと思われるかもしれませんが、断熱改修の効果は寒い冬だけではなく、暑い夏にも大いに効果を発揮します。リフォームでの断熱改修は設計・施工が難しい仕事ではありますが、本当に快適になりますので、今後積極的に取り組んでいきたいと思っております。（啓）



着工前



採用した高性能断熱材



断熱材と防湿シート
施工状況



床暖房
施工状況

完成

.....